
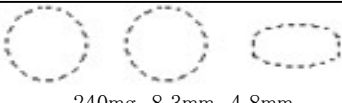
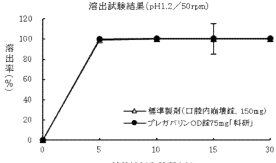
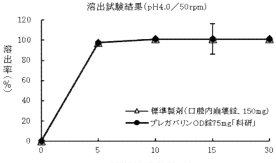
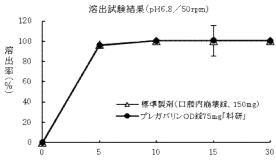
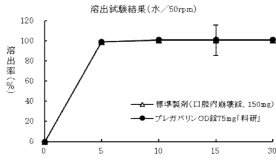


製品別比較表(先発品との比較)

ダイト株式会社
安全管理室

	後発品	標準品		
商品名	プレガバリンOD錠75mg「科研」	リリカOD錠75mg		
販売会社名	科研製薬株式会社			
規格「一般名」	1錠中 プレガバリン75mg含有			
薬効分類	119 疼痛治療剤(神経障害性疼痛・線維筋痛症)			
薬価	20.90円/1錠	60.20円/1錠		
1錠薬価差	39.30円			
効能・効果	①神経障害性疼痛 ②線維筋痛症に伴う疼痛 【標準品と同じ】			
用法・用量	①通常、成人には初期用量としてプレガバリン1日150mgを1日2回に分けて経口投与し、その後1週間以上かけて1日用量として300mgまで漸増する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最高用量は600mgを超えないこととし、いずれも1日2回に分けて経口投与する。 ②通常、成人には初期用量としてプレガバリン1日150mgを1日2回に分けて経口投与し、その後1週間以上かけて1日用量として300mgまで漸増した後、300～450mgで維持する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最高用量は450mgを超えないこととし、いずれも1日2回に分けて経口投与する。 【標準品と同じ】			
添加物	D-マンニトール、硬化油、モノステアリン酸グリセリン、タルク、結晶セルロース、クロスポビドン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、サッカリンナトリウム水和物、スクラロース、フマル酸ステアリルナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、香料	ステアリン酸マグネシウム、硬化油、グリセリン脂肪酸エステル、タルク、結晶セルロース、D-マンニトール、クロスポビドン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、サッカリンナトリウム水和物、スクラロース、香料、フマル酸ステアリルナトリウム		
規制区分	処方箋医薬品	処方箋医薬品		
貯法・使用期限	室温保存、3年	室温保存、3年		
製剤	商品名	外観(重量、直径、厚さ)	性状	識別コード
	プレガバリンOD錠75mg「科研」	 240mg、8.4mm、4.9mm	白色素錠	—
標準品	 240mg、8.3mm、4.8mm	白色素錠		
製剤特性	特になし			
安定性(無包装)	温度 (40℃±1℃・75%RH±5%RH、3ヵ月[遮光・気密容器])		類縁物質の増加、崩壊時間の延長が認められたが規格内	
	湿度 (25℃±2℃・75%RH±5%RH、3ヵ月[開放])		類縁物質の増加、崩壊時間の延長が認められたが規格内	
	光 (曝光量120万lux・hr、25℃±2℃・45%RH±5%RH[開放])		類縁物質の増加が認められたが規格内	
安定性(粉砕)	粉砕後の安定性を確認している。			
薬物動態(生物学的同等性)	溶出試験			
				
				
	プレガバリンOD錠75mg「科研」は、「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」に基づき、プレガバリンOD錠150mg「科研」を標準製剤としたとき、溶出挙動に基づき生物学的に同等とみなされた。			
	備考 担当者、連絡先			